

NISSEI 手首式デジタル血圧計 WSK-1011

取扱説明書

製造販売元 日本精密測器株式会社
〒377-0293 群馬県渋川市中郷2508-13
☎0279-20-2311 (代)

製造元 蘇州尼世精密儀器有限公司
NISSEI PRECISION INSTRUMENTS (SUZHOU) CO., LTD.
中華人民共和国

©2011 日本精密測器株式会社 ●無断複製／転載を禁じます●

一歩進んだ健康管理

血圧値だけでなく、脈圧、血圧レベルも表示します。

時計機能

時計を設定すると時計機能が有効になり、測定日時もメモリーに保存します。

電池を取り外すと時刻が初期値に戻り、時計機能は無効になります。（日付は電池を取り外したときの日付のままです。）電池交換時など電池を取り外した後は、再度設定をおこない時計機能を有効にしてください。



イムカフ®

測定可能手首周囲
12.5～22.5cm

イムカフは日本精密測器株式会社の登録商標です。

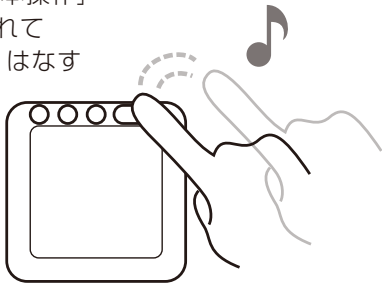
NEW タッチセンサースイッチ

スイッチに指がふれたこと、スイッチから指が離れたことをセンサーが検出します。

[基本操作]

ふれて

はなす



スイッチは指で軽くさわって操作してください。また、連続してスイッチを操作するときには、1、2秒、間をあけてください。

時計設定画面への切替などではスイッチにふれ、一定時間ふれたままにし、その後指をはなします。

スイッチにふれる面積が小さいとき（指先でスイッチにふれているとき）などは検出しづらくなることがあります。

NISSEI × Kazuo Kawasaki

大阪大学教授・医学博士 川崎和男氏による
デザインディレクション

もくじ

安全上のご注意	6 ページ
---------------	-------

製品について

製品内容と各部のなまえ	10 ページ
作動原理	12 ページ
ファジィ加圧	12 ページ
血圧分類表示	12 ページ
体動表示	13 ページ
不規則脈波リズム表示	14 ページ
メモリー機能	14 ページ
製品仕様	16 ページ

使用前の準備

電池を入れる	18 ページ
時計を設定する	19 ページ

正しく測定するために	23 ページ
------------------	--------

血圧を測定する	25 ページ
---------------	--------

保存されている結果をみる (メモリー機能)	31 ページ
--------------------------------	--------

血圧について	35 ページ
--------------	--------

困ったなと思ったら	38 ページ
-----------------	--------

お手入れと保管、取り扱いの お願い	42 ページ
----------------------------	--------

技術サポート	44 ページ
--------------	--------

保証規定	47 ページ
------------	--------

品質保証書	48 ページ
-------------	--------

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

- ・ **⚠警告** は死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
- ・ **⚠注意** は誤った取り扱いをすると人が損害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。
- ・ **🚫** は禁止「してはいけないこと」を示し、**❗** は強制「必ず守ること」を示します。

物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

⚠ 警告

- ❗ 腕部に重度の血行障害のある人は必ず医師と相談のうえ使用する。体調不良をおこすおそれがあります。

糖尿病、肝臓病、動脈硬化、高血圧症などで末梢循環器障害のある人は血圧値に差がでることがある。また、測定部位の血流が少ない方や不整脈の頻度の高い方は測定できないことがある。その判断は医師による。

⚠ 注意

- ⊖ 病院内の麻酔ガスなど可燃性ガスの近く、高圧酸素室や酸素テント内など高濃度酸素下では使用しない。発火・引火の可能性があります。
- ⊖ 下記の医用電子機器との併用はしない。誤動作を招くおそれがあります。
 - ・ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器
 - ・心電計などの装着形の医用電子機器
- ⊖ 自身で測る場合、測定結果の自己判断、治療はしない。医師の指導にもとづいて測定し、診断を受け、薬剤の服用も医師の

指示に従う。

- ⊖ 血圧測定の目的以外には使用しない。故障や事故の原因になります。
- ⊖ 治療中で点滴静脈注射や輸血をおこなっている場合はカフを巻かない。ケガや事故をおこすおそれがあります。
- ❗ 透析や点滴などの血管と流体接続するシステムを使用する環境で血圧計を使用する場合、誤ってシステムと血圧計の空気圧系を接続しないよう注意する。血管内に空気が送られて事故の原因になります。
- ⊖ 耐用回数を超えて使用しない。本製品の耐用回数は10,000回です。

⊖ 不特定多数の被検者が対象となる医療機関、公共の場所などで使用しない。

⊖ 強い静電気や電磁波に近づけたり、電波を発生する機器（携帯電話／PHSなど）の近くでは使用しない。誤動作や故障の原因になります。

❗ 付属品は指定されたものを使う。指定外のものを用いると、誤差の原因になります。

❗ 使用前に手首の周囲を測り、適用範囲内であることを確認する。適用範囲外で使用する、誤差の原因になります。

❗ 不整脈のある方は、使用前に医師に相談する。

❗ 血圧は以下の要因で変動するので、注意する。

- ・ 時刻や季節
- ・ 高血圧治療などの薬剤
- ・ 飲食（アルコールを含む）
- ・ 喫煙
- ・ 身体活動
- ・ 精神的緊張
- ・ 入浴
- ・ 尿意
- ・ 会話
- ・ その他の環境（病院での受診中など）
- ・ 測定姿勢
- ・ 不整脈

❗ カフは測定部位に正しく装着し、測定中は血圧計を心臓の高さに保つ。誤った装着や高さのズレは誤差の原因になります。

❗ 異常加圧が発生した場合は、〔測定／停止〕スイッチで測定を中止する。〔測定／停止〕スイッチをさわるとカフから空気が急速に抜け、測定が中止されます。

❗ カフの締め付けにより、一過性の内出血が発生し赤みが残る可能性があるため、痛みを感じた場合には**〔測定／停止〕**スイッチで測定を中止する。**〔測定／停止〕**スイッチをさわるとカフから空気が急速に抜け、測定が中止されます。

⊖ 傷など未治癒の手首にカフを巻かない。

❗ 電池交換は同じ種類の新品電池を2本同時におこなう。違う種類の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると電池が発熱し、故障の原因になります。

❗ 汚れていたり濡れていないかを確認する。製品の清掃方法は42ページを参照してください。

❗ 製品を長期間使用しないときには、電池を取り外しておく。電池を長期間入れたままにすると電池の液もれが起こり、製品を傷める原因になります。

⊖ お子様だけで使わせたり幼児の手の届く所に保管しない。けがの恐れがあります。

⊖ 分解・修理・改造は行わない。誤動作や故障の原因になります。

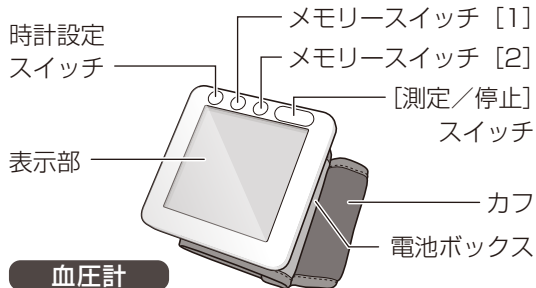
❗ 動かなくなったり、異常がある場合は、直ちに使用を中止する。点検・修理をお申し付けください。

❗ 本製品および使用済みの電池を廃棄する場合は、各自治体の規則に従い適切に処分する。

製品について

製品内容と各部のなまえ

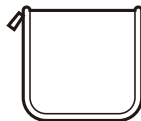
次のものがそろっていることをご確認ください。不足しているものがあるときにはお買い上げの販売店または弊社お客様相談室（☎ 0120-211-164）までご連絡ください。



単4アルカリ電池
(お試し用)*



取扱説明書



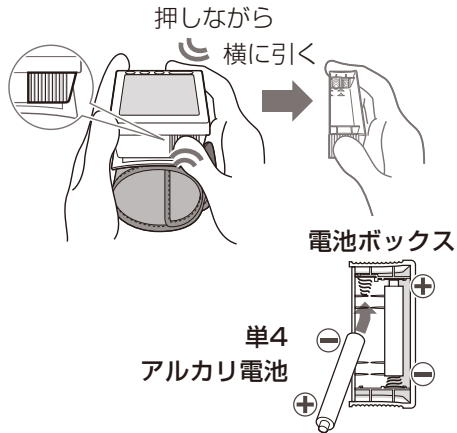
キャリングバッグ



添付文書

※市販のものに比べ寿命が短いことがあります。

電池ボックスはギザギザ部分を押しながら横に引くと外れます。



お願い

スイッチや表示部を強く押したり、表示部を下にして置かないでください。



何かに触れて血圧計が作動してしまわないよう持ち運びの際は必ずキャリングバッグに入れてください。



作 動 原 理

動脈が圧迫帯（カフ）の圧力で圧迫されると、動脈が心拍に合わせて脈動を起こし、それがカフ内圧上の脈動となり、この脈動の大きさは、血圧とカフ圧力との大小関係に応じて変化します。オシロメトリック式の血圧計は、カフ内圧力を徐々に変化させた時に見られる、この脈動の大きさの変化パターンをもとに最高血圧及び最低血圧を決定します。

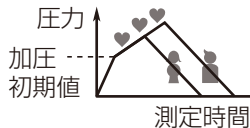
フ ァ ジ ャ 加 圧

本製品では、加圧時の締め付けを軽減するためにファジャ加圧を採用しています。

測定が開始されると、カフに空気を送りカフ内の圧力を初期値まで一気に上げます。

その後、脈波にあわせて加圧を続け、圧力が所定値を超え、測定に十分な値に達すると加圧を終了します。

脈波にあわせて加圧をすることにより、無駄な加圧をなくし測定を快適にします。



血 圧 分 類 表 示

本製品は、WHO*の指標（1999年）にもとづいて、測定した血圧値を4段階に分類し、次ページのように表示します。

最低血圧と最高血圧が異なる分類に該当する場合は、高位の分類を採用します。

血圧 分類表示	WHOの 分類	最高血圧 (mmHg)	最低血圧 (mmHg)
	高血圧 重症	180以上	110以上
	高血圧 中等症	160～179	100～109
	高血圧 軽症	140～159	90～99
	正常高値	130～139	85～89
	正常血圧	120～129	80～84
	至適血圧 (目標値)	120未満	80未満

※WHO：世界保健機関 (World Health Organization)

本製品ではWHOの指標を基準としていますが、血圧値は人種、地域、性別、年齢によってかなりの差がみられ、人により目標値も異なります。測定結果はご自分で判断せずに必ず医師の指導を受けてください。

体動表示

血圧は体が動くことで変化するため、測定中に動いた場合には正しい測定結果とは言えません。

本製品は、脈波の強さを分析し、測定中の体の動きを検出したときには体動マークを表示します。



体動マークの表示は、測定結果が体の動きに影響を受けている可能性があることを示します。しばらく間をあけて安静にしてから、体を動かさないようにしてもう一度測定をおこなうことをお勧めします。



測定をやり直すときには間をあけてからおこなってください。測定を続けておこなうと手首が鬱血し、正しい測定結果がでません。

不規則脈波リズム表示

測定中に検出した脈波の間隔が一定でなかったときには、不規則脈波リズムマークを表示します。



話をしたり動いたりすると脈波に影響しリズムが乱れますが、安静状態で測定をしても常に不規則脈波リズムマークが表示される場合は、不整脈の可能性もあります。ただし、そのようなときでも、ご自分で判断はせずに、医師にご相談ください。

不規則な脈波のリズムの例



規則的な脈波のリズム

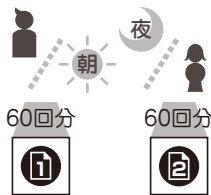
メモリー機能

本製品には、2つのメモリー（測定結果の保存場所：①と②）があります。過去に測定した結果や、保存されている結果の

平均値をメモリーから呼び出して確認することができます。また、測定の前に血圧計の時計をあわせておくことで、測定結果を測定日時と一緒にメモリーから呼び出して確認することができます。

メモリーにはそれぞれ60回分の測定結果を保存できます。

2つのメモリーは、お2人の測定結果を別々に保存したり、朝と夜の測定結果を別々に保存したりするためにご利用いただけます。



1つのメモリーに保存されている測定結果数が60回分になると、次の結果が保存

されるときに1番古い結果が消去されます。また、不要な結果をメモリーから削除することもできます。

測定結果は測定終了後、電源を切るときに選択しているメモリーに自動的に保存されます。測定後はどちらのメモリーが選択されているかご確認ください。

選択しているメモリーはスイッチの下に「—」が表示されます。

「[Err]」結果は保存されません。



保存されている結果の表示方法…31ページ参照
保存されている結果の削除方法…33ページ参照

製品仕様

販売名称	: デジタル血圧計 WSK-1011
測定方法	: オシロメトリック法
表示	: 15桁液晶表示
圧力表示範囲	: 3～300mmHg (カフ圧力)
測定範囲	: 50～250mmHg (最高血圧) 40～180mmHg (最低血圧) 40～160拍/分 (脈拍)
精度	: ±3mmHg (圧力) ±5% (脈拍)
臨床性能試験による血圧測定の誤差※ ¹	: 聴診に対する 平均誤差 ±5mmHg以内 標準偏差 8mmHg以内
カフ内圧力表示の誤差	: ±3mmHg以内

急速排気	: 260mmHgから15mmHgへの急速 排気時間は10秒以下
カフ内圧力表示の安定性	: 10000サイクル模擬測定後カフ内圧 の表示値の変化は±3mmHg以内
加圧	: 自動 (エアポンプ)
減圧	: 自動 (電子制御弁)
排気	: 自動急速排気弁
電源	: 単4アルカリ電池2本
電氣的定格	: 定格電圧 DC3V 定格消費電力 2W
メモリー	: 2つのメモリーにそれぞれ60回分の 測定結果とその平均値
初期加圧	: 40mmHg (ファジィ加圧)
使用環境	: +10～+40℃、相対湿度30～85% (結露なきこと)

輸送・保管環境 : -20~+60℃、相対湿度10~95%
(結露なきこと)

カフ : エムカフ®

測定可能手首周囲 : 約12.5~22.5cm

寸法 : 縦70×横70×厚み27mm
(カフ部を除く)

重さ : 約110g (電池を含まない)

電撃保護 : 内部電源機器  : BF形装着部

水の有害な浸入に対する保護の程度による分類
: IPX0

空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・
可燃性麻酔ガスのある中での使用の安全の程度による分類

: 空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素
又は亜酸化窒素・可燃性麻酔
ガス中での使用に適しない機器

作動（運転）モードによる分類

: 連続作動（運転）機器



: 付属文書をお読みください

お断りなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。

本製品は、JIST1115（非観血式電子血圧計）および
EMC（電磁両立性）規格 IEC60601-1-2:2001※2
に適合しております（CISPRグループ分類及びクラス
分類は、グループ1、クラスB）。

※1 試験方法は ANSI/AAMI SP10:2002, American National Standard
for electronic or automated Sphygmomanometers, and
Amendment に基づく。

※2 44ページ [技術サポート] 参照。

使用前の準備

ご使用の前に電池を入れ、血圧計の時計をあわせてください。

時計の設定をおこなうと時計機能が有効になります。時計機能を有効にしなくても測定をおこなうことはできますが、保存されている測定結果を呼び出したときに測定日時を確認することはできません。時計機能を有効にし、血圧管理にお役立てください。

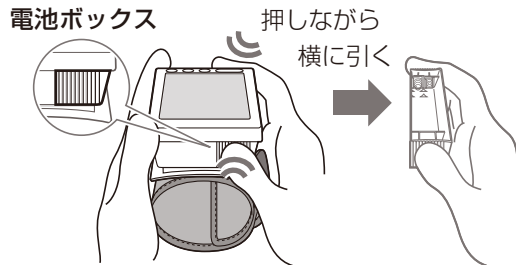


電池を取り外すと時刻が初期値に戻り、時計機能は無効になります。（日付は電池を取り外したときの日付のままです。）
電池交換時など電池を取り外した後は、再度設定をおこない時計機能を有効にしてください。

① 電池を入れる

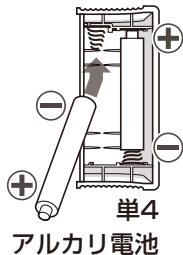
1. 電池ボックスを外す

電池ボックスの筋がある場所（ギザギザの部分）を持ち、軽く押しながら下図のように、横に引いて外してください。



2. 向きに注意し、単4アルカリ電池を2本入れる

電池を入れたり取り外したりするときは電池の（－）側をバネに押し付けるようにしてください。



 単4ニッケル水素充電電池を使用することもできます。

3. 電池ボックスを元に戻す

電池ボックスを元に戻すと「ピッ」と音が鳴ります。

② 時計を設定する

1. 時計設定画面に切り替える

時計設定スイッチをさわり、そのまま指をスイッチにつけたままにします。



もう一度「ピッ」と音がして、表示部右上の表示が年〔20 11〕の点滅にかわったら指をはなします。

 表示される年は製造年を表すものではありません。

2. 日付・時刻をあわせる



時計は〔年〕〔月〕〔日〕〔時〕〔分〕の順にあわせます。

点滅している〔年〕をあわせます。

メモリースイッチ〔1〕をさわると数値が大きくなり、メモリースイッチ〔2〕をさわると数値が小さくなります。



タッチ
数値を
大きくする



タッチ
数値を小さくする

20 12

20 11

20 50

20 49



指をメモリースイッチにつけたままにすると数値が早送りします。



- 〔測定／停止〕スイッチにふれると時計設定は終了します。
- 時計設定をやりなおすときには、一度時計設定を終了し、その後〔時計設定〕スイッチで時計設定画面に切り替えてください。

数値をあわせたら時計設定スイッチにさわってください。



タッチ
数値を確定する
(次の項目へ)

時計設定スイッチにふれると、数値が確定し、次の〔月〕が点滅します。

月



タッチ

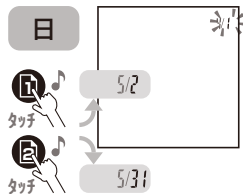


タッチ

2/1

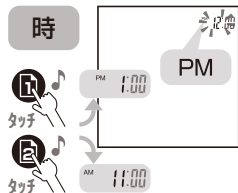
12/1

[年] の設定と同様にメモリースイッチ [1] と [2] で数値をあわせ、時計設定スイッチで確定してください。

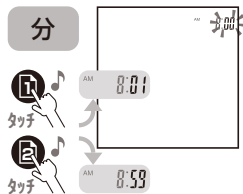


時計は 12 時間表示です。

[時] の左上に [AM] [PM] が表示されます。



[分] を確定すると時計機能が有効になり、電源が切れます。



- 時計の表示は、血圧計の電源が切れていることを示します。
- ご購入後初めての時計設定では、途中で時計設定を中止した場合にも時計機能が有効になります。
- 電池を取り外すと時刻が初期値に戻り、時計機能は無効になります。(日付は電池を取り外したときの日付のままです。) 電池交換時など電池を取り外した後は、再度設定をおこない時計機能を有効にしてください。

電池について

- ・製品を長期間使用しないときには、電池を取り出しておいてください。電池を長期間入れたままにすると電池の液もれが起こり、製品を傷める原因になります。
- ・電池残量が少なくなると電池交換マークが点滅します。

電池交換マークが点滅表示から点灯表示になると血圧測定をおこなうことはできません。2本の電池を新しい電池と交換してください。

違う種類の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると電池が発熱し、故障の



原因になります。



- は電池残量が少ないことを示すもので常に表示されているものではありません。
- メモリーに保存されている結果はみることができるのに、または、時計は表示されているのに、測定をおこなおうとすると電池交換マークが表示されることがあります。これは、測定では電圧を多く必要とするためです。電池残量が測定に十分ではありませんので電池を交換してください。
- 電池交換後は、時刻が初期値に戻り、時計機能は無効になります。(日付は電池を取り外したときの日付のままです。)再度設定をおこない時計機能を有効にしてください。
- 付属の電池はお試し用です。市販のものに比べ寿命が短いことがあります。

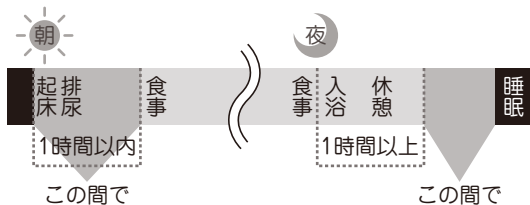
正しく測定するために

血圧は測定の変化が変動すると値も変わります。毎日同じ時刻に同じ環境で測定するよう心がけましょう。

●朝と夜、測定する時刻を決める

起床後と就寝前が1日の内で最も血圧が安定すると言われています。

朝は、起床後1時間以内で食事の前に、夜は、食事の後1時間以上間をあけて測定します。



●ポイント

尿意があるときはトイレに行ってから測定する。



喫煙直後に測定しない。



運動、入浴後はしばらくしてから測定する。



尿意があるとき、食事や喫煙の直後、運動中や運動直後は血圧が高くなります。

●測定する手首（左手首／右手首）を決める

左右の手首で血圧値が異なることがあります。家庭で測定するときにはいつも決めた手首で測定します。

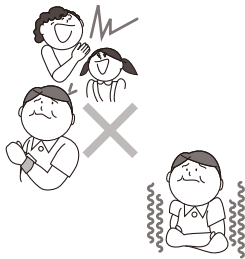
●リラックスして測定する

緊張したり心が動揺していると血圧は高くなります。深呼吸を数回して5分くらい安静にしてから測定します。



●同じ環境、静かな場所で測定する

血圧は周囲の音や動きにも影響を受けます。また、寒いと血圧は高くなります。20℃くらいの室温が血圧測定に適しています。



●測定中は静かに、動かない

話をしたり体を動かしたりすると血圧は変化します。また、本製品は血圧測定方法にオシロメトリック法を採用しています。オシロメトリック法はかすかな脈動変化をとらえて血圧を測定します。このため、測定中に話をしたり腕や体を動かしたりすると正しい測定結果となりません。



以上は一般的な血圧の傾向です。人により、血圧値が高くなったり、低くなったりと血圧への影響は異なります。

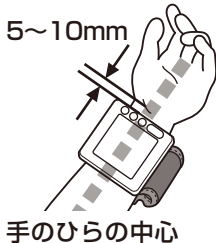
血圧を測定する

① 椅子に座りカフを手首に巻く

カフは素肌に直接巻き、衣服の袖をカフに巻き込まないようにしてください。

血圧計の表示部が手のひら側にくるようにカフを左手の手首に巻きます。

カフの端を手から5～10mmくらい下にあわせ、カフと素肌の間にすき間ができないようにぴったりと巻いてください。



測定中にカフが外れないように、面ファスナーでしっかりととめてください。



血圧計が上すぎる



向きが違う



向きが反対



カフを左手に巻けない場合は右手に巻いてください。ただし、測定は毎回決めた方の手首でおこなってください。

② 正しい姿勢をとる

左の手のひらを上に向け軽く広げ、ひじを机や台の上にのせます。腕の下にタオルなどをおいて、血圧計が**心臓の高さと同じ位置**になるようにあわせてください。

正しく測定するために、
血圧計の位置は必ず**心臓の高さ**にあわせてください。



心臓の高さよりも
高いまたは低い



測定位置が心臓よりも高いと測定値は低く、測定位置が心臓よりも低いと測定値は高くなる傾向があります。

テーブルが無い場合は、椅子に座り、左腕を軽く胸にあてカフが**心臓の高さ**と同じ位置になるようにあ合わせます。測定中は、右手で左腕を支えてください。



心臓の
高さ

仰向けに横になって測定をおこなうこともできます。



その場合にも、タオルなどを使い、血圧計を**心臓の高さ**にあわせてください。測定姿勢により（座って測定する場合と横になって測定する場合では）測定値は多少異なります。

③ 測定を開始する

測定中は動いたり話をしたりしないでください。



また、腕や手に力を入れずに、手首は曲げないように注意してください。



手に力が入っている



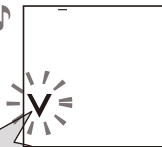
手首が曲がっている



スイッチで測定を開始したら、カフから空気が抜け、結果が表示されるまでが測定です。

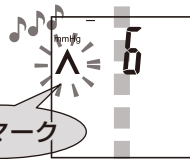
〔測定／停止〕スイッチをさわると測定が始まります。

最初にカフ内の空気が排気されます。



排気マーク

自動加圧が始まります。



加圧マーク

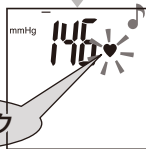
途中で測定をやめるときには、もう一度
【測定／停止】スイッチをさわってくだ
さい。

カフから空気が抜け、電源が切れます。

加圧が止まり、圧力
が減少します。

脈波が検出されると
脈拍マークが点滅し
ます。

脈拍マーク



数値は、143、142、141、140…のように連続
して減少するものではありません。

カフから空気が抜け、測定が終了し、結果
が表示されます。

測定時刻

脈拍数

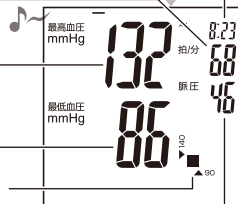
最高血圧値

最低血圧値

血圧分類表示

12ページ参照

脈圧値 36ページ参照



〔〕が表示されたときは、13 ページの〔体動表示〕を参照してください。

〔〕が表示されたときは、14 ページの〔不規則脈波リズム表示〕を参照してください。

〔Err〕が表示されたときは、39、40 ページを参照してください。

④ 結果を保存するメモリー※を選ぶ

メモリースイッチをさわるとメモリーが切り替ります。

選択しているメモリーのスイッチの下にメモリーマークが表示されます。



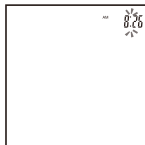
※14ページ〔メモリー機能〕参照

測定結果は、電源を切るときに選択しているメモリーに保存されます。

⑤ 電源を切る

〔測定／停止〕スイッチにさわると電源が切れます。

電源を切り忘れても、3分経つと自動的に電源が切れます。



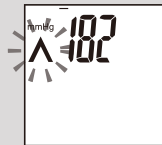
電源を切ると時計のみが表示されますが時計機能を有効にしていない場合には何も表示されません。

⚠ 注意

⊘ 測定を繰り返し行わない。手首が鬱血し、正しい測定結果がでません。

再加圧

測定中に動いたり手に力を入れたりすると、再度加圧がおこなわれます。



再加圧では前回の値よりも約40mmHg位高い圧力までカフが加圧されます。再加圧が数回おこなわれることもありますが、問題や故障を示すものではありません。

保存されている結果をみる（メモリー機能）



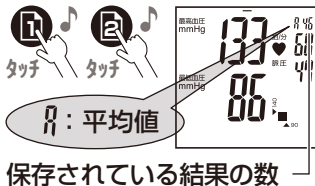
- 測定をおこなった後に保存されている結果をみるとときには「測定／停止」スイッチで一度電源を切ってください。
- メモリーについては14ページの「メモリー機能」を参照してください。



- 保存されている結果が1つの場合は、その測定結果が表示されます。平均値を示す「A」のかわりに「No. 1」が表示されます。
- 「...」 「..」 の表示は結果が保存されていないことを示します。

1. メモリースイッチでメモリーを選択する

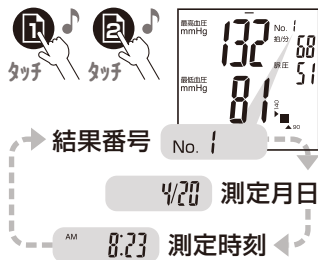
メモリースイッチをさわるとメモリーに保存されている結果の平均値が表示されます。



2. メモリーに保存されている結果を表示する

同じスイッチをさわり、指をはなすと、選択中（表示中）のメモリーに保存されている1番新しい結果が表示されます。

表示部右上に結果番号、測定月日、測定時刻が切り替り表示されます。



結果番号は、[No. 1] が1番新しい結果をあらわし、数字が大きいほど古い結果をあらわします。



測定時に時計機能が有効にされていなかったときには、測定月日、測定時刻の表示が[../..] [../..] となります。

同じメモリースイッチにふれる毎に古い結果がさかのぼって表示されます。



別のメモリースイッチにふれると、ふれたメモリーに保存されている結果の表示に切り替えます。

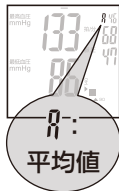
3. [測定 / 停止] スイッチで電源を切る

電源を切らなくても、測定結果は約30秒間表示され、その後自動的に電源が切れます。

保存されている結果の削除方法

メモリースイッチで削除したい結果を表示させてください。

メモリーに保存されているすべての結果を削除したい場合は削除するメモリーの平均値（[A]のついた結果）を表示させてください。



つぎに、表示している結果が保存されているメモリーのスイッチにもう一度さわり、そのまま指をスイッチにつけたままにします。



そのまま
指をはなさない



メモリーマークが点滅します。



...約4秒

削除中

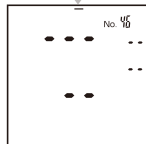


「ピッ」と音がなり、測定値と結果番号、血圧分類表示が点滅します。

そのまま
指をはなさない

...約4秒

削除完了



指をはなす

「ピピッ」と音が鳴り、測定値の表示が[●●●][●●]に変わるとメモリーから結果が削除されます。

指をはなし、[測定／停止]スイッチにふれ電源を切ってください。

血 圧 について

? 血圧とは

血管内を流れる血液が血管の内壁におよぼす圧力のことをいいます。

最高血圧（収縮期血圧）



心臓が収縮して血液が送り出され血管内の圧力が上がります。

最低血圧（拡張期血圧）



心臓が拡張して血液が心臓にもどり血管内の圧力が下がります。

! 血圧は常に変化しています

血圧は心身のいろいろな条件で変化し、いつも一定のものではありません。

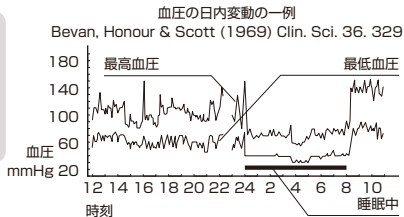
血圧の変動要因には、

- ・時刻や季節
- ・喫煙
- ・入浴
- ・身体活動
- ・精神的緊張
- ・尿意
- ・会話
- ・飲食（アルコールを含む）
- ・高血圧治療などの薬剤

などがあげられます。

安静状態での血圧値を正確につかむためには、5分以上休憩をいれながら何回か測定することをおすすめします。

一般的に日中（活動しているとき）は高くなり、夜間（寝ているとき）は低くなります。



？ 高血圧とは

13ページの表に示すように、WHOでは最高血圧140mmHg以上、最低血圧90mmHg以上を高血圧としています。

また、高血圧にも種類があり、病院などで血圧が高くなってしまう「白衣高血圧（または白衣性高血圧）」、反対に、病院などでは血圧が正常値となる「仮面高血圧」、起床時の血圧が著しく高くなる「早朝高血圧」などがあげられます。そのため、病院や医療機関で測定した血圧だけでなく、日常生活の中での血圧を知ることが重要となります。

！ 日本人の血圧の状況

男性 割合 (%)	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
至適血圧の人	78.6	41.7	30.0	22.8	9.8	6.5	8.3
正常血圧の人	14.3	32.3	33.2	23.2	16.1	13.9	12.1
正常高値血圧の人	5.4	18.8	20.7	25.9	21.7	24.4	22.9
高血圧の人	1.8	7.3	16.2	28.2	52.5	55.2	56.8

女性 割合 (%)	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
至適血圧の人	98.6	84.4	73.3	52.3	26.5	14.0	8.2
正常血圧の人	0.0	11.1	16.6	18.9	20.0	18.1	15.3
正常高値血圧の人	1.4	3.0	5.9	12.7	18.9	23.4	21.3
高血圧の人	0.0	1.4	4.2	16.1	34.6	44.5	55.3

年齢別血圧の状況（厚生労働省 平成19年国民健康・栄養調査による）

高齢になるほど、高血圧の割合が多くなる傾向がみられます。

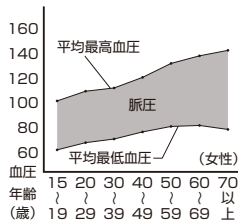
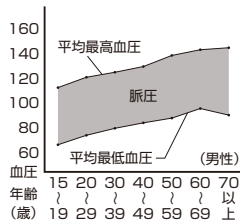
？ 脈圧とは

血圧は「最高血圧が高いけど、最低血圧は低いからいい！」というものではありません。

脈圧とは最高血圧値と最低血圧値の差の値で、動脈硬化とも深く関係があるといわれ、循環器系危険因子のひとつとして広く研究されています。一般的には45mmHg前後が目安とされています。

次ページのグラフからもわかるように、年齢にともない最高血圧は高くなる一方で、最低血圧は50代

前後から低くなり始める傾向があります。そのため脈圧も年齢とともに大きくなっていきます。



年齢と血圧の平均値 (厚生労働省 平成19年国民健康・栄養調査による)

誰でも年齢が増すにつれ動脈が硬化していくのは自然なことです。動脈硬化が進行すると血液の流れ道が狭くなった部分に血液の塊（かたまり）ができ、血液が十分に流れなくなり、狭心症・心筋梗塞・脳梗塞などの原因になります。

脈圧だけで動脈硬化を判断することはできませんが、長期間での脈圧の観察は普段の生活の中でできる大切な

健康管理となります。

！ 手首の血圧について

手首の血圧は、上腕の血圧値と多少の差があります。これは測定部位の違いによるためですが、同一の心身状態のもとで、血圧計（手首）を心臓の高さにあわせた測定においては、上腕の血圧値と近似し、上腕の血圧の変化も良く反映しています。しかし、高血圧症、糖尿病、動脈硬化症、肝臓病等で末梢循環器障害のある方は、差が大きくなることがあります。

！ 脈拍数について

脈拍数は、健康状態を知るうえで非常に大切な値です。一般に成人の脈拍数は、椅子に掛けた安静状態で60～80拍／分が正常値とされていますが、疲労が蓄積されていたり、体調が悪いときには、10～20拍／分多くなることがあります。自分の安静脈拍数を知り、その日の脈拍数と比較することで、健康状態の変化を見分けるための目安となります。

困ったなと思ったら

血圧値が異常に高く、または低く表示される

血圧計を心臓の高さにあわせて測定していない。**測定中は血圧計を心臓の高さにあわせてください。**

カフが正しく巻かれていない。**カフの巻き方を確認してください。**

衣服の上からカフを巻いている。**カフは素肌に直接巻くようにしてください。**

測定中に動いたり話をしたりした。**測定中は動いたり話をしたりしないでください。**

測定値がいつも異なる

心身状態や測定状態が血圧に影響を与えている。**同じ条件のもとで測定してください。**

加圧が繰り返される

測定中に動いたりすると再加圧が行われます。**測定中は動いたり話をしたりしないでください。再加圧については30ページを参照してください。**

病院での測定と値が異なる

病院での緊張感、ご家庭でのリラックス感などの精神状態が血圧に影響を与えている。ご家庭で測定した血圧は、記録をつけ、医師の指導や判断をお受けください。

血圧は心と体の状態によって変化します。ご家庭で正しく血圧を測るためには、測定する時間や、環境など決めた条件で測定するようにしてください。

[正しく測定するために] …23 ページ参照

[血圧について] …35 ページ参照

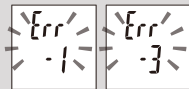


が表示された

(加圧エラー)

カフが正しく巻かれていない。カフを巻きなおしてください。

カフが破損している。カフを巻きなおしても常にこのエラーが表示される場合は点検・修理をお申し付けください。



が表示された

(測定エラー・減圧エラー)

測定中に動いたり話をしたりした。**測定中は動いたり話をしたりしないでください。**



が表示された

(過加圧エラー)

測定中に手や腕を動かしたり、話をしたりしたため最大加圧値まで加圧された。**測定中は動いたり話をしたりしないでください。**

スイッチにさわっても何も表示されない

電池が消耗している。**2本とも新しい電池と交換してください。**

電池の向きが誤っている。**電池を正しく入れなおしてください。**

電極が汚れている。**乾いた布できれいにしてください。**

指先でスイッチにさわっている、または爪がスイッチにふれている。**スイッチに指の腹がふれるようにしてください。**

時計が表示されていない

時計機能が無効になっている。**時計を設定し、時計機能を有効にしてください。**

測定日時が [../..] [..:..] で表示される

時計が設定されていない。**時計を設定し、時計機能を有効にしてください。**

時計を設定する前におこなった測定結果を表示している。**時計設定の前に測定をおこなったときには測定日時が保存されません。**

電池を取り外した後は時計機能が無効になります。再度時計の設定をおこない、時計機能を有効にさせてください。



が表示された

電池挿入時にスイッチに手がふれていた。**[測定／停止] スwitchにさわり一度電源を切ってください。**

以上の方法でも、測定が正常にできないときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

お手入れと保管、取り扱いのお願い

本製品には専門の知識・技能を必要とする保守点検（特定保守管理）は必要ありません。血圧計の性能は使用した回数、使用・保管方法、年数に影響を受けて劣化しますが、10,000回を超えての使用は禁じられています。1日6回測定する場合、使用できる年数は約4年です。

●製品のお手入れ

使用後は汚れなどがないか確認してください。汚れはぬるま湯や石けん水を含ませた布でよく拭き取り、乾いた柔らかい布で空ぶきしてください。ベンジン、シンナー、ガソリ

ンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。製品を傷める原因になります。カフが汚れて衛生上問題がある場合は、弊社またはお買い上げの販売店へ交換をお申し付けください。（有料）

●製品の保管

保管の際は、必ずキャリングバッグに入れてください。長期間使用しないときには、電池を取り出して保管してください。電池を入れたままにすると電池の液もれが起こり製品を傷める原因になります。上には重いものをのせないでください。

次のような場所に保管、または長時間放置しないでください。故障、製品の劣化の原因になります。

- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 温度差の激しい場所や高温多湿な場所
- ・ ほこりの多い場所・防虫剤の入ったタンス

●製品の取り扱い

落としたり、強いショックを与えないでください。故障の原因になります。

スイッチや表示部を強く押さないでください。また、表示部を下にして置かないでください。製品を傷めたり誤動作の原因になります。

電池の取り外しは、必ず血圧計の電源を切ってからおこなってください。故障の原因になります。

カフを伸ばしたり曲げたりしないでください。また、ナイフや先のとがった物で切ったり、突いたりしないでください。

カフを手首に巻いていないときは加圧させないでください。変形や故障の原因になります。

製品の分解・修理・改造はしないでください。故障の原因になります。

技術サポート

本製品は、医用電気機器の安全使用のために要求されているEMC（電磁両立性）規格、IEC60601-1-2:2001に適合している装置です。IEC60601-1-2:2001（6.8.3.201項）において、機器が安全に機能するためのEMC環境に関する詳細な情報を使用者に提供することが求められているため、EMCにかかわる技術的な説明を以下に記載します。

IEC60601-1-2に代表されるEMC規格は、医用電気機器を安全に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器（携帯電話等）が発する電磁波から受ける影響を、一定のレベル以下に抑えるよう規定した規格です。（詳細は、IEC60601-1-2:2001をご参照ください。）

EMC（電磁両立性）とは

EMC（電磁両立性）とは、次の二つの事項を満たす能力のことです。

- ・ 周辺の他の電子機器に、許容できない傷害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション）
- ・ 周辺の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）

EMC（電磁両立性）にかかわる技術的な説明

医用電気機器は、EMCに関して特別な注意を必要とし、次に記載するEMCの情報に従って使用する必要があります。

- 注意
- ・ 本機器は電磁両立性（EMC）に関して、特別な注意が必要であり、本書に記載されたEMC情報に基づいて使用しなければならない。
 - ・ 携帯及び移動無線周波（RF）通信機器により本機器は影響を受けることがある。
 - ・ 本機器は、他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないこと。

表201 — ガイダンス及び製造業者による宣言 — 電磁エミッション —

デジタル血圧計WSK-1011は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。WSK-1011の顧客又は使用者は、このような環境内でそれが使用されることを確認することが望ましい。		
エミッション試験	適合性	電磁環境 — 指針
RFエミッション CISPR 11	グループ1	デジタル血圧計WSK-1011は、内部機能のためだけにRFエネルギーを使用している。したがって、そのRFエミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RFエミッション CISPR 11	クラスB	デジタル血圧計WSK-1011は、下記を含む全ての施設での使用に適する。 含むのは、家庭用施設、及び家庭目的に使用される建物に電力を供給する公共の低電圧用の配電網に直接接続された施設である。
高周波エミッション IEC 61000-3-2	非適用	
電圧変動／フリッカエミッション IEC 61000-3-3	非適用	

表202 - ガイダンス及び製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ -

デジタル血圧計WSK-1011は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。WSK-1011の顧客又は使用者は、このような環境内でそれが使用されることを確認することが望ましい。			
イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電(ESD) IEC 61000-4-2	±6kV接触 ±8kV気中	±6kV接触 ±8kV気中	床は木材、コンクリート又はセラミックタイルであることが望ましい。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は少なくとも30%であることが望ましい。
電氣的ファーストトランジェント/バースト IEC61000-4-4	±2kV電源ライン ±1kV入出力ライン	非適用	非適用
サージIEC61000-4-5	±1kVディファレンシャルモード ±2kVコモンモード	非適用	非適用
電源入力ラインでの電圧ディップ、 短時間停電及び電圧変動 IEC 61000-4-11	<5% U_T (>95% U_T のディップ) 0.5サイクル間 40% U_T (60% U_T のディップ) 5サイクル間 70% U_T (30% U_T のディップ) 25サイクル間 <5% U_T (>95% U_T のディップ) 5秒間	非適用	非適用
電源周波数(50/60Hz)磁 IEC61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用又は病院環境における一般的な場所と同じレベルの特性を持つことが望ましい。
備考 U_T は、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。			

表204 - ガイダンス及び製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ -

デジタル血圧計WSK-1011は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。WSK-1011の顧客又は使用者は、このような環境内でそれが使用されることを確認することが望ましい。			
イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
伝導RF IEC61000-4-6	3 Vrms 150kHz~80MHz	非適用	携帯形及び移動形RF通信機器は、デジタル血圧計WSK-1011のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。 推奨分離距離 非適用

放射RF IEC61000-4-3	3V/m 80MHz~2.5GHz	3V/m	$d=1.2\sqrt{P}$ 80MHz ~ 800MHz, $d=2.3\sqrt{P}$ 800MHz ~ 2.5GHz ここで、Pは、送信機製造業者によるワット（W）で表した送信機の最大出力電力定格であり、dはメートル（m）で表した推奨分離距離である。 電磁界の現地調査 ^{a)} によって決定する固定RF送信機からの電界強度は、各周波数範囲における適合レベルよりも低いことが望ましい。 ^{b)} 次の記号が表示されている機器の近傍では、干渉が生じるかもしれない。((()))
備考1 80MHz及び800MHzにおいては、高い周波数範囲を適用する。			
備考2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収及び反射は電磁波の伝搬に影響する。			
^{a)} 例えば無線（携帯／コードレス）電話及び陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM・FMラジオ放送及びTV放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に論理的に予測をすることはできない。固定RF送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮することが望ましい。デジタル血圧計WSK-1011が使用される場所において測定した電界強度が上記の適用されるRF適合レベルを超える場合は、デジタル血圧計WSK-1011が正常動作をするかを検証するために監視することが望ましい。異常動作が確認された場合には、デジタル血圧計WSK-1011の、再配置又は再設置のような追加対策が必要かもしれない。 ^{b)} 150kHz~80MHzの周波数範囲では、電磁強度は3V/m以下であること。			

表206 ー 携帯形及び移動形RF通信機器と機器又はシステムとの間の推奨分離距離 ー

デジタル血圧計WSK-1011は、放射RF妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。WSK-1011の顧客又は使用者は、通信機器の最大出力に基づく次に推奨している携帯形及び移動形RF通信機器（送信機）とWSK-1011との間の最小距離を維持することで、電磁障害を抑制するのに役立つ。			
送信機の最大定格出力電力 W	送信機の周波数に基づく分離距離 m		
	150kHz~80MHz 非適用	80MHz~800MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	800MHz~2.5GHz $d = 2.3\sqrt{P}$
0.01	非適用	0.12	0.23
0.1	非適用	0.38	0.73
1	非適用	1.2	2.3
10	非適用	3.8	7.3
100	非適用	12	23
上記にリストされていない最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル（m）で表わした推奨分離距離dは、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで、Pは、送信機製造業者によるワット（W）で表わした送信機の最大定格出力電力である。 備考1 80MHz及び800MHzにおいては、高い周波数範囲を適用する。 備考2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収及び反射は電磁波の伝搬に影響する。			

保証規定

有効保証期間はご購入後1年間です。

取扱説明書に従った正常なご使用状態で、万一故障した場合には、無料で修理を致します。保証期間内に無料修理を受けられるときは、商品に本保証書を添えて、ご購入いただいた販売店または弊社までお持ちください。修理品を弊社にて直接送付される際の送料は、お客様ご自身でご負担ください。

本保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- | | |
|--|---|
| 1) 誤った使用や、不注意による故障または損傷。 | 5) 一般家庭以外（公共の場所など）でのご使用による故障または損傷。 |
| 2) 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。 | 6) 本保証書の提示がない場合。 |
| 3) 不当な修理や改造による故障または損傷。 | 7) 本保証書に販売店、ご購入日などの記載の不備がある場合、あるいは内容を書き替えられた場合。 |
| 4) 火災、地震、水害、異常電圧、指定外の使用電源およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。 | 8) ご使用後の外装面の傷、破損、および外装部品、付属品の交換。 |

アフターサービスのお問い合わせは、ご購入の販売店、もしくは日本精密測器株式会社へご連絡ください。

サービス実施日	サービス内容	印
年 月 日		
年 月 日		

品質保証書

このたびは、**NISSEI** 血圧計をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

本製品は、高度な技術と徹底した生産管理そして厳重な品質検査を経てつくられた製品です。しかし通常のご利用において万一不具合が発生したときは、47ページの保証規定により修理および調整をいたします。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

NISSEI® 日本精密測器株式会社

本社・工場 〒377-0293 群馬県渋川市中郷2508-13

☎0279-20-2311 (代)

東京支社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-13

シード第2ビル3階 ☎03-5842-6611 (代)

お客様相談室 ☎0120-211-164

(9:00~12:00、13:00~17:00 土・日・祝祭日を除く)

ホームページ <http://www.nissei-kk.co.jp/>

品名／型式	デジタル血圧計 WSK-1011
製造番号	
お名前	様
お電話	
ご住所	〒
販売店（店名・住所・電話）	
お買い上げ年月日	年 月 日
販売店にて記入捺印していただいてください。 (印)	